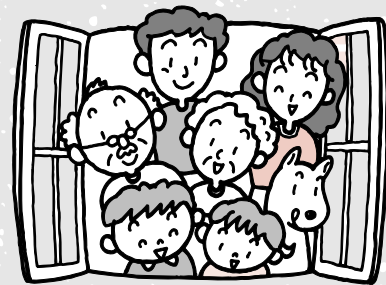


市民のひろば



お便りには必ず住所、氏名、年齢、学校・学年、電話番号を記入してください。ファクス32-2152、インターネット目安箱 meyasu@city.tsuyama.okayama.jp での応募も受け付けています。



中山神社神門



大隅神社神門



成道寺山門

津山の山門のアップील

備中櫓の完成を間近にして喜ばしく感じています。この完成に合わせて昔の津山城の山門が現存していることをアップीलし、観光資源として活用する手段を検討いただければうれしく思います。具体的なことになりませんが、次のような案はどうでしょうか。

わたしもひとこと

津山城から移築された中山神社・大隅神社の神門は確認されていますが、成道寺（西寺町）の山門についても調査していただきたいと思っています。

昨年12月に開催された築城400年記念講演会「城郭史上より見た津山城の構成」の中で、講師の西ヶ谷恭弘氏は99・9%津山城から移築されたものと考えられると話されていました。中山神社・大隅神社の神門と成道寺の山門の写真を同封しますが、これらの門の構造はよく似ており、なかでも成道寺の山門は立派な造りです。

この上で、今春完成する備中櫓の説明板の中にも、津山城の移築門のことも説明していただきたいと思えます。これにより市民の認識にも深みが増し、観光で津山城跡を訪れる方々にも移築門に足を運んでいただけるかもしれません。（上之町・男性）

中山神社神門は、津山城二ノ丸の「四脚門」が廃城後に払い下げられ移築されたものです。また大隅神社神門は、明治初年の藩校であった修道館（大手町）の校門が移築されたものです。どちらも市の重要文化財に指定されています。

ご意見、クイズ、イラストは左のあて先へどうぞ。見本のとおり書くだけで着きます。イラスト以外はファクス、Eメールでも応募できます

津山市役所
行政広報室行

POST CARD
7088501



菅尾 知弘
(小学2年・近長)



菅原 颯矢
(小学2年・国分寺)



菅原 拓矢
(小学4年・国分寺)

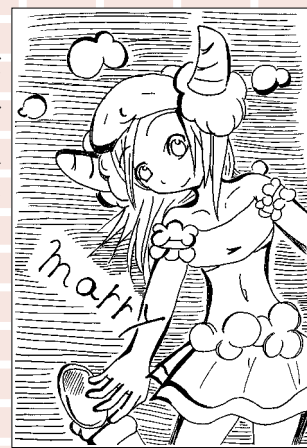


田村 昌大
(小学2年・河辺)



吉川 千晴
(小学3年・神戸)

みんなの絵



ペンネーム・ソラ
(小学6年・二宮)

こころしい いろ しるくる
高校生まで 色は白黒、サインペンなどでかく
えんぴつ
(鉛筆・ボールペンはダメ) テーマは自由
おもしろい きねんひん さ
採用分には記念品を差し上げます
おもて しょうよ なまえ ねんれい か
はがきの表に住所・名前・学年(年齢) を書く
ペンネームもOKです 敬称略



津山市ふるさとCMの音楽を担当

佐藤 郁也さん(作陽高校2年)

中学1年のときに、祖父からもらったコンピューターを使って音楽ができることを知りました。ドラムやベース、オーケストラなどの音をコンピューターで演奏できることにとっても感動し夢中になりました。

中学生のころから作曲・編曲したものをインターネットで多くの人に聴いてもらうようになり、今では制作依頼も受けています。感想やアドバイスをもらえるとうれしくて、この気持ちが次へのエネルギーになっています。

昨年度は、音楽コンテスト「YAMAHA P-1グランプリ2003」でグランプリを受賞できました。また今年度、津山市が作成した瀬戸内海放送の「岡山・香川ふるさとCM」の制作にも音楽で携わりました。

今後も音楽を楽しみながらいろいろな作曲やレコーディング技術の勉強などを幅広くしていきたいと思っています。

作品はホームページ<http://www.musicpiano.net/>でも紹介していますので、どうぞ聴いてください。

年、元鶴山高等小学校の表門が移築されたものです。この門は、明治3年建築の津山藩庁南門にさかのぼるといわれています。明治2年、版籍奉還によって津山城本体は明治政府の所管となったため、同3年津山藩は現在の文化センターの地に津山藩庁を新築しました。ところが、翌4年の廃藩置県により旧藩庁は津山県、北条県へと引き継がれ、その後いくつの変遷を経て鶴山高等学校とな

りました。このように成道寺山門は江戸時代の建築ではありませんが、広義の津山城の遺構としてたいへん重要な文化財です。このため、市では、昭和50年に市の重要文化財に指定して保存を図っています。3月に完成する備中櫓の説明板では、門のことまで深くふれることはできませんが、各種刊行物などでこれからも周知を図っていききたいと思えます。市教委文化課

広報クイズ

問 備中櫓復元落成記念式は何月何日?

応募方法 答えのほかに必ず、日ごろ感じていること、記事の感想、市政に対する要望など、何でも書き添えてください。(広報紙やホームページなどに匿名で紹介させていただきます)正解者の中から抽選で5人に図書券を贈ります。

締め切り 3月10日(木)当日消印有効

発表 広報つやま4月号

12月号当選者 応募15人、正解15人

難波 涉さん、林 桂子さん、原 美代子さん、福田 静子さん、持安 利子さん

12月号の正解 ステンレス

私のおすすめ



津山市弓道教室

津山市弓道連盟理事長 田淵 雄一さん(林田)

私が弓を始めたころは、「的に当ててなんぼ」の気持ちでした。ところが、経験を積んで技術が進むと、弓は「技に従い道に進む」といわれるように、心のあり方が技術をどれだけ大きく左右するかということがわかってきたように感じます。

でも、最初のころは深く考えないで、弓を楽しく引いて的に向かったときの緊張感や弓を放したとき、的に当たったときのそう快感を味わうといいと思います。弓は年齢・経験を問いません。小学生から70歳代の人が弓を楽しんでいます。その人の体格と体力に合った弓を使えば、誰でも対等に競技ができ、ともに楽しめるスポーツです。

最近女性にも人気が、多くの方が参加しています。相手を必要とする競技ではないので、自分の体力と時間に合わせてマイペースで練習できます。弓を始めて新しい自分を発見してみませんか。

津山市弓道教室についてのお問い合わせは、津山市弓道連盟(田淵さん) ☎22-9617へどうぞ。



ペンネーム・ジェリー
(小学5年・沼)

(小学5年・中島)
中村 晴香



(4歳・国分寺)
すがはら しゅんや



(小学3年・中島)
中村 菜々

